

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市広瀬文化センター	
2 指定管理者	公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 42,794人(前年度比 209.2%) 令和4年度 20,454人(舞台機構改修工事のため令和4年10月1日から令和5年3月31日までホール利用を休止) 令和3年度 25,295人	
	《事業》 ・施設の管理運営 ・自主事業の実施	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 120,440千円 (114,025千円) ・ その他市が負担した費用 38,313千円 (192,415千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 14,295千円 (7,242千円) ・ その他収入 248千円 (182千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケートの実施(令和6年2月1日～令和6年2月29日) ・「ご意見箱」の設置(通年) ・「ご意見カード」の配付(利用の都度) ・「ひろせ懇話会」の実施(令和5年6月29日、令和5年11月30日 広瀬市民センターと共催)	

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設使用料の徴収業務において、誤った事務処理を行い、重ねて市への報告を怠った事案が発生し、利用者などにご迷惑を掛けることになってしまった。今後、繰り返すことのないよう、改善策を講じて取り組んでいる。 窓口にサークル案内を設置して情報提供をするとともに、活動希望者には具体的な案内が出来るように提供可能な情報を持合せるなど、地域住民のサークル活動への参画を支援した。また、2階に交流サロンを設け、地域住民の自主的な活動を支援するとともに、1階ロビーや2階オープンスペース、ステージを活用し、サークル活動等の成果発表の場の提供や支援を行うなど、活動の活性化に貢献した。更に、プロのパフォーマンス集団を招いた市民参加によるワークショップを開催し、文化芸術の体験機会や交流の機会を創出した。	24/24
II 施設の運営管理体制	定期的な巡回や点検・補修等により、日頃から安心・安全な施設運営のために尽力している。災害発生時にも安全が確保されるようホールの中止基準の設定、利用者への事前説明を行い、対応方法を確認している。また「大型バス等駐車場使用確認票」により入庫台数や入庫時間等を把握し、安全を確保することで、利用者がスムーズに入館できるよう努めた。更に積雪の多い地域であることから、状況に応じて時間を問わず、歩道や階段、スロープの除雪作業を行うなど、施設周辺の歩行者の事故防止にも努めている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	施設を快適に利用できるように保守点検や清掃を実施し、安全で衛生的な状態を維持している。また、併設施設とともに「ごみ減量推進委員会」を設置して意識の向上を図っており、資源の有効活用のために割り箸やペットボトルキャップの分別を行うなど、積極的にリサイクルに取り組み、「エコにこマイスター」認定を受けている。その結果、令和5年度のリサイクル率は64.4%となった。	24/24
IV サービスの質の向上	施設使用料の徴収業務において誤った事務処理が生じたことは、全職員による一貫したサービス提供という点に関して不十分であったと捉えている。 休館日を利用した館内会議や文化センターと市民センターによる毎朝の合同ミーティング、文化センターと常駐全業者による毎夕のミーティングなどにより、館内の様々な情報を伝達、共有することで、円滑な運営を図っている。 不慣れなお客様に活用いただけるよう、使用内容に応じたステージプランを用意し、ホームページや館内掲示板を活用して周知を図った。また、ステージプランには、使用が想定される附帯設備を明記したほか、目安となるホール使用料及び附帯設備使用料も明記し、より理解が深まるよう取り組んだ。 常設のご意見箱や年1回のアンケートのほか、利用時に配付する「ご意見カード」により多くのご意見やご要望などを把握し、可能なものから順次、改善に取り組んだ。また、地域団体や利用団体等の皆様の出席による「ひろせ懇話会」を2度開催し、更に満足いただけるよう取り組んだ。	28/28
V 施設固有の基準	「宮城地区まつり」では、ステージの音響設営や安全管理等のサポートなど、地域のイベントに積極的に協力している。また、併設施設や地域団体との連携を活かした事業や環境美化活動を実施することにより、様々な面で地域に貢献している。さらに、施設特性を活用した自主事業では、随所に参加者と共にイベントを創り上げるための工夫を凝らしながら、複数の自主事業を連携して開催するなど、地区唯一の文化施設として、新たな文化活動を創り上げ、地域の文化活動の振興に寄与し、地域の活性化に努めている。	5/4

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>[施設の使用許可等について] 指定管理者として条例等を遵守し、施設の使用許可にあたっては公平・公正に取り扱うべきところ、施設使用料の徴収業務におきまして、誤った事務処理を行い、重ねて貴市への報告を怠った事案が生じてしまい、利用者及び貴市の皆様には多大なご迷惑をお掛けしてしまいました。今後、繰り返すことのないよう、改善策を講じて取り組んでいます。 また、個人情報については貴市・財団それぞれのセキュリティポリシーに遵守するなど、適切に管理しました。</p> <p>[施設維持管理に関する取り組み] 定期的な巡視を行い、事故防止や危険個所の早期発見等に取り組めました。 また、今後予定されている大規模改修に向けて、貴市所管課及び工事関係課、設計業者等との連絡調整や情報共有に努め、スムーズに準備、計画等が進展するように取り組みました。</p> <p>[自主事業の実施について] 「広瀬から創ろう！！ブロードウェイ！！～パフォーマンクス集団「白A」と一緒に～」や「ひろせサマーナイトコンサート2023～Candlelight Symphony&民俗芸能フェスティバル～」など、概ね計画どおりに開催することができました。 また、当文化センターも会場の一部となって行われた「宮城地区まつり」や、令和5年度に創立150周年を迎えた仙台市立広瀬小学校の設立150周年記念イベント「広小アニバーサリーフェスティバル」に実行委員として携わり、専門分野を活かしてステージ部門の中心的な役割を担うなど、地域のイベントに協力しました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の目的や基本方針の確立では、施設使用料徴収事務において事務処理のミスが発生したが、令和5年度中に経過報告と対応策を速やかに提出して改善を図り、再発防止に取り組んでいる。</p> <p>施設の運営や維持管理は、協定書や条例等を遵守して適切に行われている。施設や利用者の安全のため、定期的な巡回や点検を実施しているほか、施設周辺の歩行者の事故防止にも努めている。また、環境に配慮した運営のため、施設全体で意識向上を図っており、ごみの分別やリサイクルに積極的に取り組み「エコにこマイスター」の認定を受けるなど、環境意識の啓発や資源の有効活用に取り組んでいる。</p> <p>サービス面では、施設関係者間の打ち合わせでの様々な情報共有に加えて、ご意見箱の設置や年1回のアンケート、利用時に配付する「ご意見カード」等により、さらには地域団体や利用団体の出席による「ひろせ懇話会」を2度開催するなど、利用者の意見を幅広く収集し、順次改善を行っていくことで、利便性や満足度の向上に努めており、円滑な運営ができている。</p> <p>自主事業や地域との関わりについては、地区唯一の劇場型ホールとして地域の文化芸術活動を支援し、その向上に寄与している。「マイステージinひろせ」や「マイギャラリーinひろせ」では、館内のミニステージやオープンスペースを文化芸術活動の発表の場として提供しており、演出や広報などにおける支援も充実している。多数の参加者・来場者が集うことで、市民の交流促進の場としての役割も果たしていると考えられる。さらには、「第35回宮城地区まつり」や「広小アニバーサリーフェスティバル」などにおいて、職員が実行委員として地域イベントに積極的に協力しているほか、併設施設・地域団体と連携して魅力ある様々な事業を実施しており、それらの取り組みは、施設の利用促進や地域活性化に大いに貢献していると評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):青葉区宮城総合支所まちづくり推進課